



プレスリリース

令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

ゲガルクニク州障害児福祉施設へのアクセス改善計画 供与式の実施

エレバン：令和7年9月23日

令和7年9月23日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ゲガルクニク州障害児福祉施設へのアクセス改善計画」（供与限度額：63,313米ドル）の供与式が、ゲガルクニク州ヴァルデニス市において開催されました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、アショット・バルセギャン・ヴァルデニス副市長、メラニヤ・イエプレミャン・アスタヴァルド障害児の親 NGO 代表が出席したほか、行政職員や本事業関係者が出席しました。

本事業はヴァルデニス市の障害児福祉施設にバリアフリー対応の送迎用車両2台を供与することにより、ナゴルノ・カラバフからの避難民を含む約135人の障害児が定期的に福祉施設に通うことを可能にし、健全な発育と社会的発達に必要なリハビリテーションや心理療法等を受けられるようにすることを目的としています。同地域では多くの障害児が登録されているものの、公共交通機関がなく自家用車も持たない家庭が多いため、これまで一部の人々しか福祉施設を利用できていませんでした。また、同地域には、2023年9月のアゼルバイジャンによるナゴルノ・カラバフへの軍事攻撃により、障害児や心理的トラウマを抱えた子どもたちも多く避難してきており、支援の必要性が高まっていました。

メラニヤ・イエプレミャン・アスタヴァルド障害児の親 NGO 代表は、「今回供与いただいた車両は子どもたちと必要なサービスとの間の橋渡しとなります。子供達の移動の負担をできるだけ軽くしてあげたいという我々の長年の夢が、この2台のバスのお陰で実現でき、日本政府に心から感謝しています」と述べました。また、青木豊駐アルメニア日本国大使も式典で、「セヴァン湖の美しい湖畔に位置するこの地域の修道院が何世紀にもわたってコミュニティ支援の象徴として存続してきたように、今日私たちは、どの子どもも排除されないよう取り組むコミュニティの同じ思いやりの精神を目にしています。本事業の完了を心からお祝い申し上げます」と述べました。



施設利用者との記念撮影



式典で挨拶する青木大使



本事業で供与された送迎用車両 2 台



送迎用車両の中での記念撮影